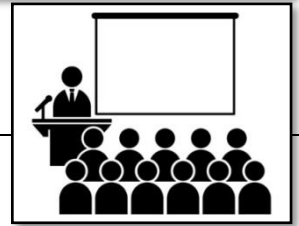


## 高校説明講話② (進路学活6時間目)



## 《高校の先生の講話を聴いて、自分の進路について考えたこと》

- ・高校によっては英検や漢検といった基本的な資格の他にも専門的な資格もとれるから、将来就きたい職業で使う技術や役立つ資格を身につけたり、将来を見据えた進路選択も選択肢に入れて学校を選びたい。
- ・高校だけの説明ではなく、今の自分がやることが未来の自分につながると言うことも教えてもらったし、勉強だけがすべてじゃないことが分かったので、自分に合う高校を見つけられるようにしたいです。
- ・自分の目指している高校は、自分の学力より少し上なので別の高校に変えようと思っていましたが、講演で講師の先生が「あきらめなければ行きたい高校に受かるかもしれない」と言われたことで、もう少し頑張ってみようという気持ちになった。
- ・講演を聴いて「やはり自分はこの高校に行きたい」と思った。また、スクールポリシーについてあまり調べてはなかったけれど、「部活動に入っていないくても、自分の好きなこと、進みたい道に向かって進む」という生徒に、この学校に3年間通うことになりたいと思った。
- ・高校を卒業してからも、人によって様々な進路があると分かった。高校の選び方は人それぞれで、色々な選び方があると分かった。
- ・自分の特技や趣味を見つけて、それに合うような高校を選ぶようにしたいと思った。将来自分がなりたいものは何かをはっきりさせて、その夢を叶えられるような高校を探したいと思った。
- ・講演を聴いて、どんな勉強をするかだけでなく、どんな部活動があるのか、どんな資格が取れるのかなど、色々な面から進路について考えるのもありだなと思った。
- ・講演を聞いて、3年間の間に様々な資格を取れるのはとても魅力的だと感じた。高校に進学するときに、しっかり学校の特色を理解するのが大切だと思った。
- ・特に行きたい公立高校がなくても、趣味や特技から行きたい高校が見つかることもあったので、自分に合った高校を選んで、それに合わせて頑張っていきたいと思いました。私は私立ではなく公立に行きたいと思っていたので、今日の話の参考にして、しっかりと考えて決めたいと思いました。
- ・講師の先生が言っていたけど「あきらめないで頑張れば何かしらの形でそのことに結びつく」と聞いて、自分ももっと頑張れると思った。そして公立高校はだいたい普通科で同じだと思っていたけど、自分の知らないコースがあり、学校の特色とかも調べようと思った。

## 《前回の「高校の先生に聞きたいことや疑問・心配なこと」に対する回答》

- ・道外の資料が欲しい。  
⇒どの高校の資料が欲しいか、担任の先生、または進路担当の先生に相談しましょう。また、インターネットで希望の高校のHPを見ると色々な情報が見られます。自分で資料を請求することもできるので、調べてみましょう。
- ・入学して馴染めないことはありませんか。  
⇒「多くの生徒が同じクラスや部活動で、新しい友達ができ、すぐ馴染んでいます。高校によっては、すぐ宿泊学習などの行事があり、そこで仲良くなるケースもあるようです。不安があれば、高校の先生方も中学校の先生同様に、遠慮なく相談してください。」とのことでした。
- ・入れるランクはどれくらいか。  
⇒高校によって、受験者数に対する合格者数(倍率)、傾斜配点、科やコースによって異なるなど、様々です。受験情報誌で過去の情報を見ることができます。ただし、昨年度と今年度では、受験者数も異なる場合があるので、あくまでも参考としてください。大事なことは、自分の成績と自分が行きたいと思う高校を照らし合わせることで、そしてできるだけランクやテストの点数など、上げられるように努力を重ねることです。
- ・強化指定部とそうじゃない部活の違い。  
⇒強化指定部は、それぞれの私立高校で環境や活動をサポートし、全道大会、全国大会など上位を目指している部活動のことです。推薦や単願で受験した場合に奨学金制度が適用になったり、その高校に進学する可能性が高くなるなど、高校によって条件や制度が異なります。強化指定部ではない部活動だからサポートされない、というわけではありません。高校によっても様々なので確認してみましょう。
- ・入試は道コンよりも難しいですか？  
⇒その年度、教科、受験者の得意・不得意によって異なります。大事なことは、不得意だからと言ってやらないのではなく、どんな問題でも対応できるように、幅広く勉強し、入試までに計画的に中学3年間の勉強し、その後自分の得意分野を伸ばしていくことだと思います。
- ・部活動って入った方が良いですか？  
⇒入っても入らなくても、その生徒の高校時代の過ごし方によって充実度が異なります。その高校の特色を事前に調べて、高校で取り組みたいことややりたいこと、自分にとってのやりがいを見つけることが大事だと思います。



・北海道にある高校に入学したとして、途中で自分の専門で東京に行くとなったときに、私立と公立ではどちらの方が免除の対象となりますか。

⇒その時の状況や高校によって、対応が異なると思います。入学した際に高校に相談してみると良いと思います。もし、入学前に知りたい場合は、担任の先生や進路の先生に事前に高校と相談しておいてもらうと良いと思います。

・北都中学校から自転車でどれくらいかかるのか。

⇒Google Maps など、地図アプリで調べてみましょう。

## 高校説明会の参加について

夏休み中の高校説明会に参加する人は、必ず読んでください。高校からの案内文書で、服装や持ち物について触れられていない場合もあります。ただ、書かれていないから自由にしてよいというのではなく、書かれていないからこそ、中学校生活同様にきまりを守る意識で参加すると良いと思います。

**Q:標準服(制服)で行くのですか。**

**A:基本標準服を着用して行くこと。夏服の期間は夏服で OK です。**

(高校を訪問する立場なので、失礼にならない服装とはどのような服装なのかを考えてください。

ただし、名札は付けなくても構いません。)

**Q:上靴は必要ですか。**

**A:上靴はもちろん、外靴を入れるための靴袋も持参すること。**

(大通高校などのように、外靴のまま校舎に入れる学校もあります。

そのような場合は、上靴は不要だという連絡が必ず入ります。)

**Q:自転車で行ってもいいですか。**

**A:自転車を使わずに、徒歩または公共の交通機関を利用して行くこと。**

(すべての高校に自転車置き場があるとは限りません。また、入試は冬に行われるので自転車では行けませんし、実際にどのくらいの距離・時間でその高校まで行けるのか、という目安を知ることができます。)

## 夏休みの過ごし方

中学校生活最後の夏休みは、「楽しむ<勝負>」の夏休みです。皆さんにとって、中学校最後の夏休みかもしれませんが、高校受験(受検)も人生で一度きりのものです。皆さん自身にとって、人生のターニングポイントとなる可能性があるので、悔いのないよう、できることを精一杯努力してほしいと思います。冬休みには、入試対策に追われることでしょう。自己推薦や単願・専願受験の人は面接練習もすることになります。「3年間の復習」や「苦手教科・苦手分野の克服」は、今回の夏休み期間にしかできません。今まで以上に計画的に勉強に取り組み、中学校生活で一番充実した夏休みとなることを期待しています。

## 高校出願について

2年前から私立高校によるWeb出願が始まり、各家庭で出願することが可能となりました。昨年度は札幌市立の公立高校もWeb出願に変わりました。最近の報道で、北海道立の公立高校もWeb出願となることが分かり、ほとんどの高校がWeb出願となります。まだ正式な連絡はきていないので、正式な連絡が来た際に、改めてお伝えします。この2年間のWeb出願で気を付けなければならないことは以下の点です。

・保護者がすべて手続きしてしまう。(銀行振込以外の手続き)

⇒生徒自身の受験・受検なので、基本的に生徒が自分自身でWeb出願の手続きを行ってください。

・正しい住所が分かっていない。

⇒正しい「郵便番号」「住所」「電話番号」が記録されないと合格通知が届きません。マンション名やアパート名を求められることもあるので、すべて正式に生徒自身が覚えておくようにしましょう。

夏休みの間に、自分の住所について確認するなど、受験(受検)に向けて色々な準備をしておくが良いと思います。

※今年度の夏休みは3年生全員 Chromebook を持ち帰ります。高校説明会情報は「第3学年進路」の Classroom のストリームに載せますので、各自定期的に確認するようにしてください。